

中学部 1～3年 生活単元学習 学習指導案

日 時：9月24日(金) 3・4校時
場 所：中学部1、2・3年生教室、体育館
生 徒：中学部 1～3年生 15名
指 導 者：杉森悠太(T1)、畠山晃菜(T2)
佐藤和春(T3)、工藤明日香(T4)
大和路子(T5)、伊藤あゆ子(T6)
菅奈穂(T7)

1 単元名 もりよし荘との交流会②に向けて～歌とダンスで笑顔と元気を届けよう！～

2 単元の目標

- (1) 制作のポイントが分かって文字の大きさやディスプレイを工夫しながら制作に取り組んだり利用者さんの好みをプレゼント作りに生かしたりする。(知・技)
- (2) 相手に喜んでもらうための制作物や発表方法を考え、意見を出し合いながらより質の高いプレゼントや小道具の制作、発表練習に取り組む。(思判表)
- (3) 施設や利用者さんへの理解を深め、喜んでもらいたい、元気を届けたいという気持ちを制作や話し合い活動に生かそうとする。(学、人)

3 生徒と単元

(1) 生徒について

1年生7名、2年生6名、3年生2名、計15名からなる学習グループである。言葉でやりとりができる生徒がほとんどであり、話し合いの活動では、グルーピングを工夫し、小集団で取り組むことで、自信をもって活動に向かうことができるようになってきている。歌やダンスが好きな生徒が多い集団で、他校との交流会の企画では、ダンスがしたいと意見を出したり、練習することを楽しんだりして、意欲的に取り組んだ。『みんなのためにプロジェクト』(研究説明参照)の活動を通して、誰かのために何かをして喜んでもらいたい、役に立ちたいという気持ちが育ってきており、どうすれば喜んでもらえるかを考えながら、丁寧に制作活動に取り組んだり、地域の清掃活動などに意欲的に参加したりすることができるようになってきている。

(2) 単元について

本単元では近隣の介護老人保健施設もりよし荘との交流に向けた学習として、制作活動や発表練習に取り組む。コロナ禍の中、施設内での直接的な交流ができない現状を生徒たちは理解し、自分たちができることを考えながら活動に取り組むようになってきている。「もりよし荘との交流会①」では、屋外で太鼓演奏を披露する活動に取り組んだ。事前学習では、利用者さんに喜んでもらうために、「笑顔で」と「元気よく」というキーワードを考えたり、見えやすい大きな字で横断幕を作ることを提案したりできた。「もりよし荘との交流会②」では音楽発表を通して、日頃の学習で取り組んでいることを紹介、披露する。音楽は生徒たちが好きな活動であるというだけでなく、利用者にも分かりやすく、伝わりやすい内容であると考えられる。また、交流開催の広告作りやプレゼント作り、横断幕の制作など、活動に広がりをもたせることができる。制作活動では、校内販売会で学んだことを生かして見やすい広告を作るなど、他の学習とのつながりを意識させることができる。また、自分たちで準備をすることで、当日に向けた意欲の高まりや、友達同士の連帯感、相手のことを思いやる気持ちの成長も期待できる。自分たちの取組で、利用者さんが喜んでくれた、笑顔になってくれたという達成感や成就感を味わうことができると考え、本単元を設定した。

(3) 指導に当たって

〈学習活動〉

- ・見通しをもって取り組むことができるように、毎時間の活動の流れを、原則的に制作・発表練習で固定する。(主・対)
- ・意見を話したり、相手の意見を汲み取ったりできるように、グループ分けを工夫する。(主・対)
- ・生徒同士が主体的に考えたり解決したりできるように、グループ内で役割分担を決める。(主・対)

〈場の設定、教材・教具〉

- ・本時に見通しをもったり、前時を振り返ったりできるように授業計画を提示する。(主)
- ・落ち着いた気持ちで取り組むことができるように、グループ同士の間隔を広く取ったり、別室を使用したりする。(対)
- ・必要な物品や個数を見て確認できるように、チェック表や出来高表を準備する。(主)
- ・交流当日の距離間が分かりやすいように、発表する際の利用者との距離を取ったり窓を隔てたりして発表練習に取り組む。
- ・自分たちで調べたり、制作の工程で活用したりできるように、グループ1台ずつタブレット端末を用意する。(主・対・深)

〈教師の働きかけ〉

- ・ 友達の気付きを振り返りで紹介できるように、良い意見や改善点が出た場面を捉えて全体へ紹介する。(対・深)
- ・ 生徒が主体となって課題に向かうことができるように、友達同士での解決が難しい場合や関わりが必要であると感じた場合には、適宜仲介をする。(対)

4 指導計画 (総時間数 18 時間)

※太枠が生活単元学習、前後の学習は総合的な学習の時間で取り扱う

学習活動	ねらい	時数	関連する教科等
○オリエンテーション	・ もりよし荘との交流会の目的や活動内容を知る。 ・ 準備物や活動グループを知る。	2 時間	生活単元学習
○もりよし荘との交流会に向けた準備 ・ 広告作り ・ プレゼント作り ・ 歌、ダンス練習	・ 見やすさや丁寧さを意識して宣伝広告や横断幕等を作る。 ・ 喜んでもらえるように、丁寧にプレゼントを作る。 ・ 意見を話したり受け入れたりしながら活動に取り組む。 ・ 大きな声で歌ったり、体を大きく動かしたりして発表練習に取り組む。	18 時間 (本時 9・10/18 時間)	国語 数学 美術 音楽 保健体育
○交流告知・除草ボランティア (もりよし荘)	・ 抜き残りが無いように除草作業に取り組む。 ・ 交流の日程や活動内容が分かり説明したり、広告を渡したりする。	3 時間	生活単元学習 作業学習
○交流事前学習 ・ 目標設定、記入	・ 交流で気を付けるポイントが分かって自分の目標を立てる。	2 時間	生活単元学習 国語
○もりよし荘との交流会②	・ 喜んでもらえるポイントを意識して音楽発表する。	3 時間	生活単元学習 音楽 保健体育
○交流事後学習 ・ 振り返りシートの記入	・ 交流を振り返り、良かったところや課題に気付き、シートに記入する。	2 時間	生活単元学習 国語

5 本時の計画 (総時数 9・10 / 18)

(1) 全体の目標

- ・ 見やすい広告や横断幕のポイントが分かり、文字やイラストの大きさ、色使い、装飾等を工夫しながら制作に取り組む。(知・技)
- ・ 喜んでもらうためのより良い方法を話し合ったり、前時までの学習を生かしたりしながら制作や発表練習をする。(思判表)

(2) 個別の目標

〈広告グループ〉

氏名	生徒の実態と学習の様子	個別の指導計画の目標 (年間)	単元の目標	本時の目標
A	教師に相談することで自信をもって意見を話すことができるようになってきた。 喜んでもらえるポイントが分かり、丁寧に制作したり、友達を誘って一緒に活動したりすることができる。	・ 周りの意見を聞きながら、自分の考えをまとめ、友達と協力して取り組む。 ・ 活動の目的を知りアイデアを出しながら、率先して取り組む。	・ 制作のポイントが分かり、文字の大きさや挿絵を工夫する。 (知・技) ・ 喜んでもらうためにはどうしたら良いかを考え意見を出す。 (思判表) ・ 交流先の相手を意識して発表練習に取り組む。 (学、人)	・ 見やすい広告のポイントが分かり、文字や挿絵の配置を工夫しながら制作に取り組む。 (知・技) ・ 自分の考えを話したり、友達の意見を参考にしたりして広告作りに生かす。 (思判表)

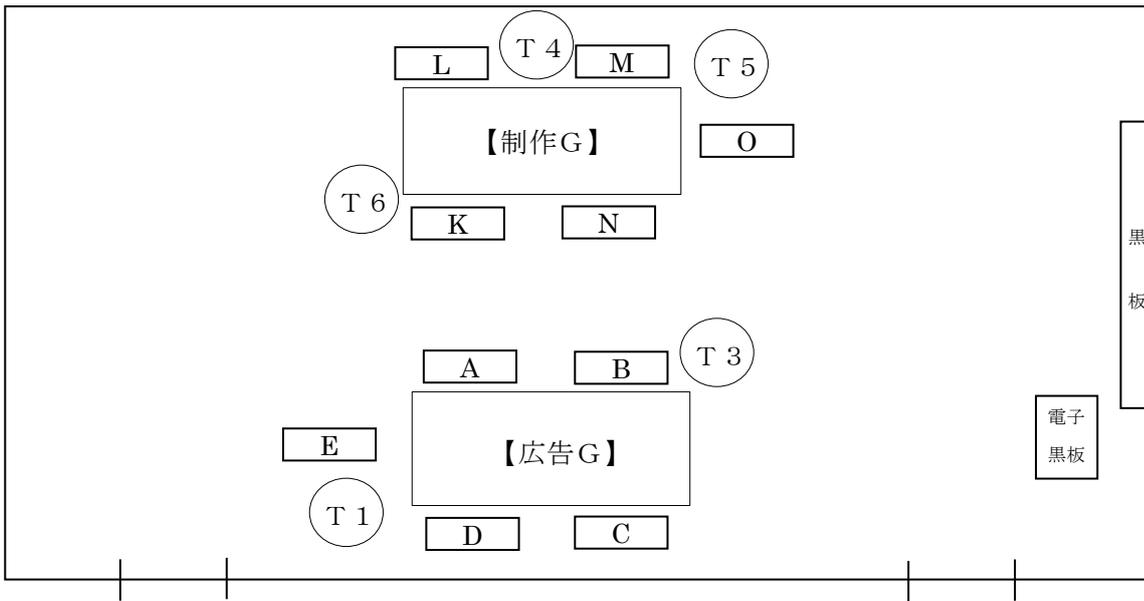
氏名	生徒の実態と学習の様子	個別の指導計画の目標 (年間)	単元の目標	本時の目標
B	<p>耳の聞こえにくさから、聞き間違いや書き間違いがあつたり、思い込みで行動したりすることがあるが、交流を楽しみに準備したり練習したりすることができる。</p> <p>手先の不器用さや自信の無さから気持ちが落ち着かないときがあるが、活動を選択したり変更したりすることで切り替えられるようになってきた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを友達に伝えたり、相手の思いを受け止めたりしながら制作活動などに取り組む。 全校行事や中学部行事等の事前学習にあたっては、日程表や計画を見て見通しをもち、進んで活動に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧に文字や挿絵を描いて制作に取り組む。(知・技) 必要な情報を整理して友達とやりとりしながら見やすい広告を制作する。(思判表) 交流相手に喜ばれる方法を考えて、制作や音楽発表の練習に取り組む。(学、人) 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい表記で字を書いたり、色合いを工夫したりして広告を作る。(知・技) 広告に必要な情報を友達や教師と確認しながら制作する。(思判表)
C	<p>積極的に自分の意見を話したり、友達の意見を聞いたりすることができる。</p> <p>制作に時間が掛かるときがあるが、より良い物を作るために考えたり、アイデアを出したりしながら丁寧に取り組むことができている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 友達に今やっている活動を教えたり友達と相談して役割を分担したりする。 活動を振り返り、気付いたことを話し合ったり、改善に向けてできることを考えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 見やすいポイントが分かり、広告の制作に取り組む。(知・技) 広告に載せるべき情報を考えたり、友達に教えたりする。(思判表) 喜んでもらえるポイントを意識して制作や音楽発表練習に取り組む。(学、人) 	<ul style="list-style-type: none"> 文字の大きさや色使いを工夫して広告を制作する。(知・技) 意見を話したり友達の意見を反映したりして分かりやすい広告を作る。(思判表)
D	<p>過去の交流等で覚えた良かったポイントを思い出して、発表することができるようになってきた。</p> <p>自分や友達の得意なことが分かって役割を分担したり、依頼したりしながら活動を進めることができるようになってきた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分から友達と協力したり、やるべき活動を考えたりしながら制作活動に取り組む。 手順表を見たり、活動のポイントを表で確認したりしながら活動を進める。 活動の日程や内容が分かり、目標や感想を一人で書いたり発表したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 広告に必要な情報が分かり、文字を書いたり、飾り付けしたりする。(知・技) 友達と一緒に良い方法を考え、制作に生かす。(思判表) 喜んでもらえるポイントを意識して最後まで活動に取り組む。(学、人) 	<ul style="list-style-type: none"> 広告に載せるべき内容が分かり丁寧に書いたり挿絵を飾ったりする。(知・技) 分からないことを友達に質問したり、自分でレイアウトを考えたりして広告を作る。(思判表)
E	<p>全体での活動に不安感があり、友達と一緒に活動に取り組むことが難しいが、与えられた課題や自分がやるべきことを理解し、別室で制作等に参加することができる。</p> <p>相手が喜んでくれるポイントを自分で考えて、丁寧に制作したりパソコンを使って文章やイラストで広告のレイアウトをしたりすることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 友達と役割分担をして自分から友達に関わったり、協力したりして制作活動に取り組む。 完成した物の出来映えを意識しながら、最後まで責任をもって自分の役割に取り組む。 教師と相談したり、自分で選んだりして行事や校外学習などの活動に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 広告作りのポイントが分かり、ICTを使い工夫しながら制作に取り組む。(知・技) 様々な広告の例を調べたり、友達に教えたりする。(思判表) もりよし荘の方に喜んでもらう方法を考える。(学、人) 	<ul style="list-style-type: none"> パソコンを使用して必要な情報を入力したりレイアウトを工夫したりする。(知・技) 見やすい広告に必要な要素を調べて制作したり友達に教えたりする。(思判表)

<プレゼントグループ>

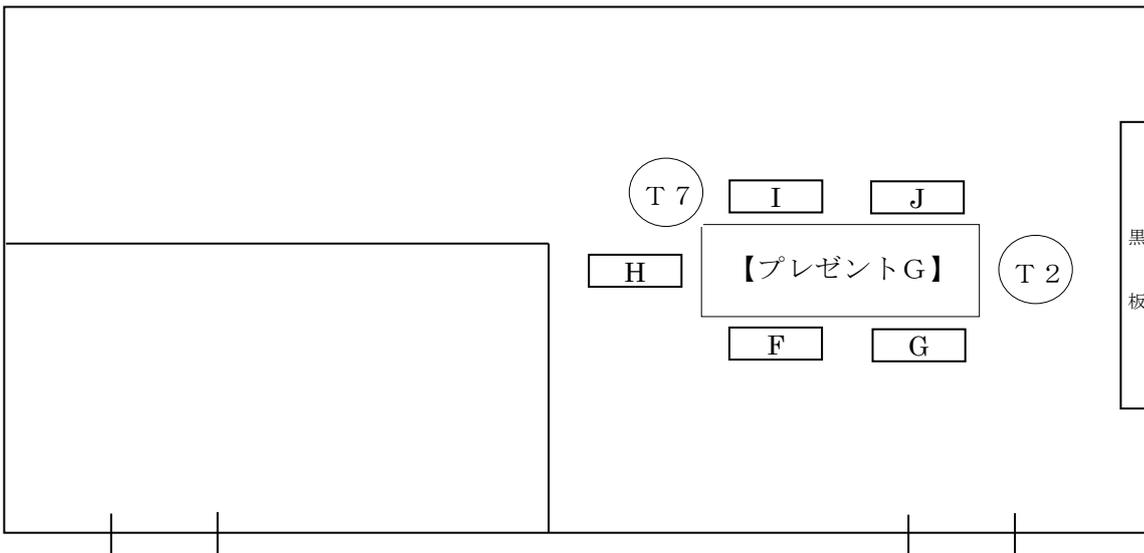
氏名	生徒の実態と学習の様子	個別の指導計画の目標 (年間)	単元の目標	本時の目標
F	交流を楽しみに制作等の活動に取り組むことができない。見通しがない不安感があるが、やることと自分から友達に活動しができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・役割に責任をもって取り組んだり、より良く取り組むために工夫したりする。 ・目的が分かって意見を出したり、友達の意見を聞きながら、良い案に決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作り方を覚え、丁寧に制作に取り組む。(知・技) ・出来映えを意識して道具や材料を選ぶ。(思判表) ・出来高を意識し目標数に向かって協力して制作する。(学、人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・手順に沿って制作したり、しわにならないようにシールを貼ったりする。(知・技) ・工夫するポイントに合わせて材料を選ぶ。(思判表)
G	転入間もないが、学校や友達に慣れ、自分の気持ちや考えをよく話をよく聞き、準備物や活動の流れが分かって自分から行動することができ、丁寧な制作活動に取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・制作の手順やきれいな仕上げのためのポイントや工夫を覚え、手順を守り活動する。 ・相手やポイントと意識して活動する。 ・相手に喜んでもらうためにどうするか、友達と相談して活動の意図や出し合ったり、良くなるためのポイントを考えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作のポイントが分かり工夫して制作をする。(知・技) ・利用者さんの好みや出来映えを考えて、道具や材料を選ぶ。(思判表) ・交流を楽しみながら友達と協力して制作活動や発表練習に取り組む。(学、人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントが分かり、色や飾り、夫素材の量(知・技) ・利用者さんが喜んでくれるような色や装飾を考案して、道具や材料を選ぶ。(思判表)
H	『○○のために～したい』『○○の喜ぶ気持ち』が意欲につながり、制作活動に活動したい。自分のイメージを絵やシールの貼りで表現するのペースで集中して取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習の日程や活動内容を見通しを取り組む。 ・自分の意見を出したり、友達の意見を受け入れたりしながら活動時間意識して活動に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作のポイントが分かり、手順に沿って制作に取り組む。(知・技) ・友達とやりとりしながら活動に取り組む。(思判表) ・喜んでもらいたい気持ちをもって、制作活動に取り組む。(学、人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・手順に沿って制作したり、決められた数の素材を選んで飾り付けしたりする。(知・技) ・分からないことを友達に聞いて誘い掛けたりして一緒に活動に取り組む。(思判表)
I	自分の意見を話したり、友達の意見を聞いたりして活動を進めたい。立体的な制作などに意欲的に関わり、言葉が手伝ったり活動することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の目的が分かり相手の立場に立ったアイデアを挙げたり、自分や友達の良さを生かして活動に取り組んだりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作り方が分かり工夫して制作に取り組む。(知・技) ・自分の意見を出したり、友達に教えたりしながら制作に取り組む。(思判表) ・交流のポイント意識して活動に取り組む。(学、人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・色や模様、素材に変化を付け、様々なバリエーションのプレゼントを作る。(知・技) ・友達の制作物の出来映えを判断したり、よいアイデアを友達に紹介したりする。(思判表)
J	交流を楽しみに、準備したり練習したりする。話し合ったり経験し、質問したりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を出したり、友達の意見を聞きながら協力して活動に取り組む。 ・活動内容の説明が分かり、自分で活動に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・使う道具が分かると、自分から準備したり制作したりする。(知・技) ・意見を出したり友達に尋ねたりしながら活動する。(思判表) ・交流の相手先を意識して制作したり発表練習したりする。(学、人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・材料を自分で選び、色や模様付けを工夫しながら制作に取り組む。(知・技) ・喜んでもらうためにどうするか意見を話したり、友達に頼んだりしながら制作に取り組む。(思判表)

(3) 配置図

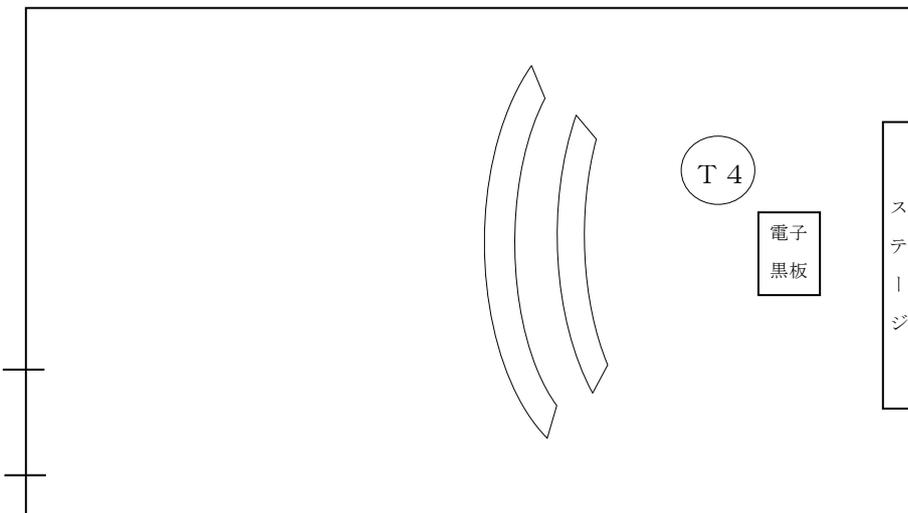
< 中学部 2・3 年教室 > 制作



< 中学部 1 年教室 > 制作 (プレゼントグループ)



< 体育館 > 音楽発表練習、おわりの会



時間(分)	学 習 活 動	教師の働きかけ、手立て	準備物等
10:25 (10)	1 はじめの会をする。 (1)挨拶 (2)めあての確認	・前時までの課題点や解決策を思い出すことができるように、学習予定の内容を提示する。	学習予定表
	<p><めあて> もりよし荘のみなさんがよろこんでくれるように、制作したり、練習したりしよう。</p>		
10:35 (45)	2 グループに分かれて制作する。 【広告G】 ・チラシ 【プレゼントG】 ・手作りマラカス 【制作G】 ・横断幕	<ul style="list-style-type: none"> 各グループで前時までに出了、「見やすい・丁寧なポイント」や課題点などをホワイトボードに掲示する。 前時までの制作のポイントを意識して制作活動に取り組むことができるように、各グループで話し合いの時間を設ける。 相手を意識して制作活動に取り組むことができるように、活動場所の写真や出来高表を準備する。 手順通りに制作したり、使用する材料の個数を守ったりできるように、手順表や小分けの容器を準備する。 画材道具や素材を選択できるように、様々な道具を準備する。 振り返りで工夫した点を発表できるように、まとめる時間を設ける。 	ホワイトボード 写真カード PC 画用紙 手順表 容器 制作素材 ペン クレヨン シール
11:20 (10)	3 制作の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> 他グループの頑張りを全体で確認することができるように、発表する場を設ける。 次時以降さらに良い物を制作できるように、他グループから感想を聞き出し、必要に応じてボードに記す。 	移動黒板
11:30 (10)	休憩・移動・準備	<ul style="list-style-type: none"> 気持ちを切り替えて次の活動に移ることができるように、休憩時間を設ける。 休憩時間で気持ちが途切れないように、可能な生徒には片付けや準備を依頼する。 	
11:40 (15)	4 歌・ダンス練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> 喜んでもらえるポイントが分かって発表練習に取り組むことができるように、前時までの『良い点』や『改善点』を掲示する。 	電子黒板 CD iPad
11:55 (10)	5 歌・ダンスの振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> 全体の様子を見て課題等に気付くことができるように、VTRを見ながら『良い点』『改善点』について発問する。 	
12:05	6 おわりの会をする。 (1)次時の学習について (2)挨拶	<ul style="list-style-type: none"> 本時の達成状況が分かるように、一覧表を用いながら確認する。 	学習予定表 出来高表

(5) 評価

〈生徒〉・喜んでもらうためのポイントを意識して意見を話したり、制作や発表練習に取り組んだりすることができていたか。

〈教師〉・前時までの学習を生かして活動に取り組むことができるようなグルーピングや環境設定ができていたか。

(6) 個別の目標 (本時) に関わる支援
 <広告グループ>

児童生徒名	目標を達成するための教師の働き掛け、手立て	支援を行う学習活動
A	<ul style="list-style-type: none"> 自信をもって発言することができるように、気持ちを聞き取ったり、相談したりする時間を設ける。(T3) 見やすい広告のポイントを思い出すことができるように、表を用意したり、質問したりする。(T3) 	2 制作・話し合い
B	<ul style="list-style-type: none"> 広告に必要な情報を正しく書くことができるように見本を準備する。(T3) 友達と適切に関わることができるように、お互いの気持ちを代弁する。(T3) 	2 制作・話し合い
C	<ul style="list-style-type: none"> 自分でポイントに気付いたり、友達に伝えたりできるように、ボードを活用するよう言葉を掛ける。(T1) 自分の意見を話すことができるように、事前にまとめる時間を設ける。(T1) 	2 制作 3・5 振り返り
D	<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を見やすく書くことができるように、見本を用意する。(T1) 友達同士で制作に取り組むことができるように、話しやすい友達と席を近くする。(T1) 	2 制作
E	<ul style="list-style-type: none"> 広告のレイアウトを工夫しやすいように、使い慣れたパソコンを用意する。(T1) 友達と関わることができるように、出来映えの確認係を依頼する。(T1) 	2 制作

<プレゼントグループ>

児童生徒名	目標を達成するための教師の働き掛け、手立て	支援を行う学習活動
F	<ul style="list-style-type: none"> 手順に沿って制作することができるように、手元に手順表を置く。(T2) 次の活動に気持ちを切り替えることができるように、片付けや道具移動を依頼する。(T2) 	2 制作 休憩・片付け
G	<ul style="list-style-type: none"> 装飾を工夫したり、楽しんで制作に取り組んだりすることができるように、選択できる素材を複数用意する。(T2) 材料を適量取り分けたり、模様や色合いを工夫したりできるように、小分けの容器を用意する。(T2) 	2 制作
H	<ul style="list-style-type: none"> 自分で手順を確認することができるように、手順表を置いたり、注目を促したりする。(T2) 友達とやりとりしながら活動できるように、報告する機会を設ける。(T2) 	2 制作
I	<ul style="list-style-type: none"> 様々なバリエーションのプレゼントを考え工夫することができるように、素材を複数準備する。(T7) 友達同士で判断し合えるように、リーダーや検品係を依頼する。(T7) 	2 制作
J	<ul style="list-style-type: none"> 手順や使う素材が分かって制作できるように、容器に素材を分ける時間を設ける。(T7) 喜んでもらえるポイントを意識できるように、体を大きく動かすことを伝える。(T7) 	2 制作 4 歌・ダンス

<制作グループ>

児童生徒名	目標を達成するための教師の働き掛け、手立て	支援を行う学習活動
K	<ul style="list-style-type: none"> 色を塗る場所が分かるように、枠で囲んだり、印を付けたたりする。(T6) 友達や教師に報告することができるように、タイミングを伝える。(T6) 	2 制作
L	<ul style="list-style-type: none"> 制作の目的や見やすいポイントが分かって取り組むことができるように、「誰のために？」などと質問したり、ポイントを文字で提示したりする。(T6) 迷ったときに意見を話すことができるように、教師と相談して考えをまとめる時間を設ける。(T6) 	2 制作
M	<ul style="list-style-type: none"> 装飾する箇所が分かるように、印を付ける。(T4) 友達とやりとりすることができるように、「〇〇さんに渡して」などと言葉を掛ける。(T4) 	2 制作
N	<ul style="list-style-type: none"> 見やすい文字のポイントを考えながら制作することができるように「どんな色?」「大きさは?」などと質問する。(T5) 自分の意見を友達に伝えることができるように、相談する時間を設ける。(T5) 	2 制作
O	<ul style="list-style-type: none"> 自分で材料や道具を選ぶことができるように、手元に2~3種類の選択肢を提示する。(T5) 装飾する箇所が分かりやすいように印を付ける。(T5) 	2 制作

生徒の目標に含まれる各教科等の目標・内容（例）

（参照：特別支援学校教育要領学習指導要領解説各教科等編（小学部・中学部））

【国語】

（知・技） ア 言葉の特徴や使い方

中学部 1 段階
（ア） 身近な大人や友達とのやりとりを通して、言葉には、物事の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。
（イ） 発音や声の大きさに気を付けて話すこと。

（思判表） A 聞くこと・話すこと

中学部 1 段階
ア 身近な人の話や簡単な放送などを聞き、聞いたことを書き留めたり、分からないことを聞き返したりして、話の大体を捉えること。
ウ 見聞きしたことや経験したこと、自分の意見などについて、内容の大体が伝わるように伝える順序等を考えること
エ 自己紹介や電話の受け答えなど、相手や目的に応じた話し方で話すこと。
オ 相手の話に関心をもち、分かったことや感じたことを伝え合い、考えをもつこと。

（思判表） B 書くこと

中学部 1 段階
ア 見聞きしたことや経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめること。

【美術（図画工作）】

（知・技） A 表現 ア 日常生活の出来事や思ったことを基に絵をかいたり、作品をつくったりする活動

小学部 3 段階
（イ） 様々な材料や用具を使い、工夫して絵をかいたり、作品をつくったりすること。

【自立活動】（主に挙げられている生徒の課題から目標に関するもの）

（参照：特別支援学校教育要領学習指導要領解説自立活動編（幼稚部・小学部・中学部））

2 心理的安定	（2） 状況の理解と変化への対応に関すること
3 人間関係の形成	（3） 自己の理解と行動の調整に関すること
4 環境の把握	（2） 感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること
6 コミュニケーション	（2） 言語の需要と表出に関すること （5） 状況に応じたコミュニケーションに関すること



生徒（L）の目標

単元の目標	本時の目標
<ul style="list-style-type: none"> 活動の目的や制作のポイントが分かって取り組む。（知・技） 友達と相談して、喜んでもらえるような意見を出したり、制作に取り組んだりする。（思判表） 準備から片付けまで取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 見やすいポイントが分かって色を選んだり、装飾したりする。（知・技） 友達と意見を出し合い、提案したり受け入れたりしながら活動に取り組む。（思判表）